

資料 4

茨木市文化振興施策推進委員会
文化芸術ホ－ル建設基本構想策定専門部会
資 料

平成 26 年 6 月 24 日

茨木市

目 次

1.1	市民会館の現状の整理.....	1
1.1.1	市民会館の概要.....	1
1.1.2	市民会館の利用状況	2
1.2	これまでの市民会館に関する経緯	3
1.2.1	計画地に関するこれまでの経緯	3
1.2.2	市民会館に関する検討の経緯.....	3
1.2.3	計画地の検討経緯	4
1.2.4	計画地の概要	5
1.3	茨木市内のホールを持つ施設の概要.....	6
1.4	茨木市内のホールの特性の整理.....	9
1.5	（仮）文化芸術ホールに関する利用者調査.....	14
1.6	周辺地域の類似施設の概要	17
1.6.1	周辺の類似施設の整理.....	17

第1章 市内の類似施設の現状の課題の整理

1.1 市民会館の現状の整理

1.1.1 市民会館の概要

現在の市民会館の概要は以下のとおりとなっています。昭和44年に開館し、すでに45年を経過しています。昭和56年の建築基準法の改正により、耐震基準が変わり現在の基準では耐震性が確保できない建築物となっています。

表 1-1 茨木市市民会館の概要

開館	昭和44年 6 月15日	
経過年数	45年	
敷地面積	1,896 m ²	
建築面積	1,388 m ²	
延床面積	6,280 m ²	
階数	地下1階、地上6階建て	
構造種別	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造	
主要諸室	ユーアイホール（大ホール）	1,003席（固定席997席、車椅子席6席）
	ドリームホール	200人収容（移動席150席）
	楽屋	3 室
	文化振興財団事務室	
	市民活動センター	
	食堂「すずらん」	
	売店	
	会議室	4 室
	和室	2 室

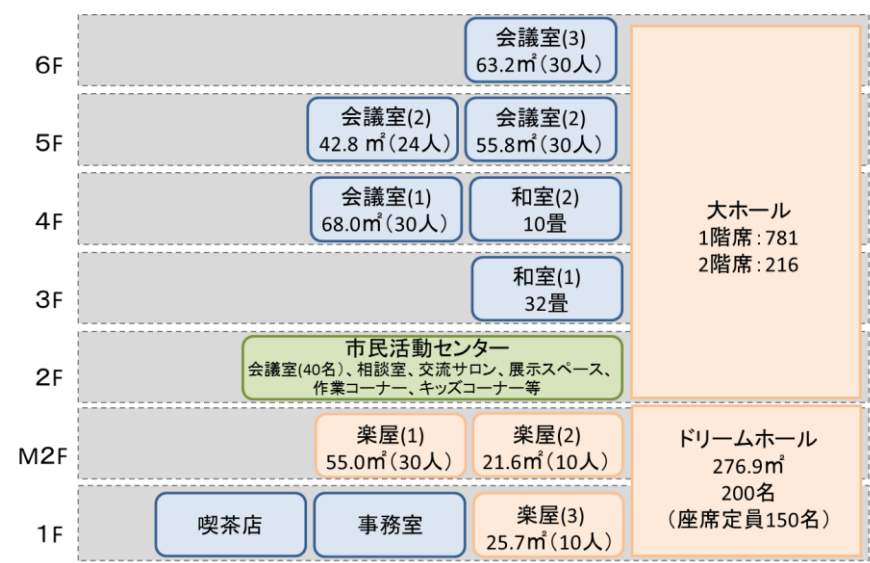


図 1-1 現在の市民会館の施設概要

1.1.2 市民会館の利用状況

現在の市民会館の利用状況は、音楽、演劇、ダンスなどの舞台公演から市の行事など、様々なコンサートやイベントが行われ、市民に親しまれています。

大ホール

市の代表的行事（成人祭、金婚式祝賀会、市内の市立幼稚園の合同発表会）

新春節 鼓動初め などのイベント、茨木伝統芸能フェスティバル

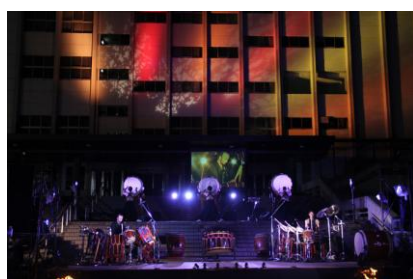
I BARAKI Live on STEPS 市民会館大ホール前大階段をステージにした野外ライブ。

ドリームホール

茨木マイホームサロンコンサート 茨木市在住の大阪フィルメンバー等を中心としたコンサート。



成人祭の様子



鼓動始め（大ホール前大階段）



茨木市立幼稚園こどものつどい

※写真は茨木市役所HPより

表 1-2 来場者が多かった公演（平成 25 年度実績）

会場	公演名	来場者数	内容（主な演者や団体等）	事業形態
大ホール	成人祭	2,000 人	新成人を祝うため	貸館
	STREET DANCE SCHOOL	1,000 人	(有)ブーム地元ダンススタジオの発表会 日々練習に励む生徒の自己表現の場を設ける。	貸館
	スーパーライブ！ 大阪市音楽団	866 人	指揮：高谷光信、吹奏楽：大阪市音楽団、茨木市立 中学校吹奏楽部選抜 ミュージカル：（音芸協）齊藤舞歌、ピアノ：（オーディション）原 明日香	自主
	定期演奏会	700 人	コロムビア 練習の成果を発表するとともに、多くの 方々に音楽の楽しさを伝えるため	貸館
	吹奏楽部定期演奏会	700 人	春日丘高校 練習成果の発表とその目標として企画	貸館
	立命館大学交響楽団 特別演奏会茨木公演	597 人	指揮：中橋健太郎左衛門、管弦楽：立命館大学交響 楽団	自主
ドリーム ホール	いばらきオペラ亭 （年 4 回公演）	計 515 人	解説つきオペラハイライト、音芸協会員を中心にオ ペラ界で活躍の演者	自主
	さくらまつり写真展	500 人 (10 日間)	茨木市主催まつりの写真展、市民の応募作品を展示	貸館
	コチの会第 5 回公演 「家庭交響曲」	136 人	創作曲発表（打楽器・マリンバ：池上英樹、タップ ダンス：藤林真理、歌・三弦：菊央雄司）	自主
	飛山桂フルト独奏会	134 人	フルトと語り	自主
	手作り T E N	100 人	本田敦子・会員の作品を展示発表	貸館
	吟道大会	100 人	大翔岳風会、練習の成果を発表	貸館

1.2 これまでの市民会館に関する経緯

1.2.1 計画地に関するこれまでの経緯

本計画地は、以前は大阪府営住宅が建てられていました。老朽化などにより府営住宅が取り壊され、その土地を茨木市は大阪府より、駐車場などに利用する目的で平成22年に購入しました。

その後、平成23年に駐車場などとして整備され、現在に至っています。

実施項目	時期	概要
土地の購入	平成22年3月	大阪府営住宅跡地の購入
駐車場・駐輪場の整備	平成23年1月	指定管理者による運営

1.2.2 市民会館に関する検討の経緯

現在の市民会館については、平成15年に耐震診断などが行われ、耐震性が確保されていないことがわかり、その後、建替えに係る検討が実施されてきました。

業務名	工期	概要
茨木市市民会館 現況調査業務委託	平成15年9月 ～平成16年1月	耐震診断、改修計画を含む
市民会館建替基本構想策定業務委託	平成20年1月 ～平成20年3月	現在位置における更新の検討 計画案4案の作成
市民会館建替基本構想策定委託（追加業務）	平成20年10月 ～平成20年12月	現地建替の可能性再検討
（仮称）文化芸術ホールに関する利用者調査	平成25年6月	アンケート調査
（仮称）茨木市文化振興ビジョン策定業務	平成25年9月 ～平成26年3月	アンケート調査（市民、学校等） インタビュー調査（市民活動団体等）
茨木市文化振興ビジョン策定業務	平成26年4月 ～平成26年12月	委員会運営支援、パブリックコメント整理、ビジョン策定
（仮称）阪急茨木市駅東口にぎわい創出 複合施設整備検討業務委託	平成25年7月 ～平成26年3月	計画案、事業スキームの検討
文化芸術ホール基本構想策定業務委託	平成26年4月 ～平成26年12月	基本構想、事業スキームの検討

1.2.3 計画地の検討経緯

平成20年の茨木市市民会館建替基本構想策定業務では、現市民会館の場所に建替える場合で検討しました。その時点での候補地としては、以下の3箇所を候補地として検討しました。

- ・現市民会館敷地
- ・阪急茨木市駅東口の駐輪場
- ・サッポロビール工場跡地（現在、立命館大学が建設中）

その後、サッポロビール工場跡地は、立命館大学が立地することになり、候補地から除かれました。

新芸術文化ホールは、現在の施設よりも大きな規模の施設となることから、現在位置での建替えについては、以下の点が懸念され、それらを総合的に判断し、現在の計画地である阪急茨木市駅東口の駐輪場に整備することとしました。

- ・機能の維持が長期にわたり困難なこと（建替え期間中に代替施設がないこと）
- ・大型車両による資機材の搬出入が困難な敷地条件であること
- ・十分な駐車台数を確保するためには、地下を活用するしかなく工事費が増大すること
- ・隣接する養精中学校への長期にわたる工事の影響や日照障害の影響が大きいこと

また、阪急茨木市駅東口の駐輪場については、以下の点が懸念されました。

- ・道路が狭く、大型の資機材の搬入用車両の通行が困難なこと。
- ・小規模な民家、店舗等に隣接しており、多くの利用者の往来に適さないこと。
- ・駐車場の確保が必要であり、現在の駐輪場、駐車場を存続する必要があること。
- ・阪急茨木市駅前の敷地であり、ホールがもっとも適した土地利用か疑問があること。
- ・現在の周辺ホール（クリエイト、福祉文化会館、WAM）から離れること。

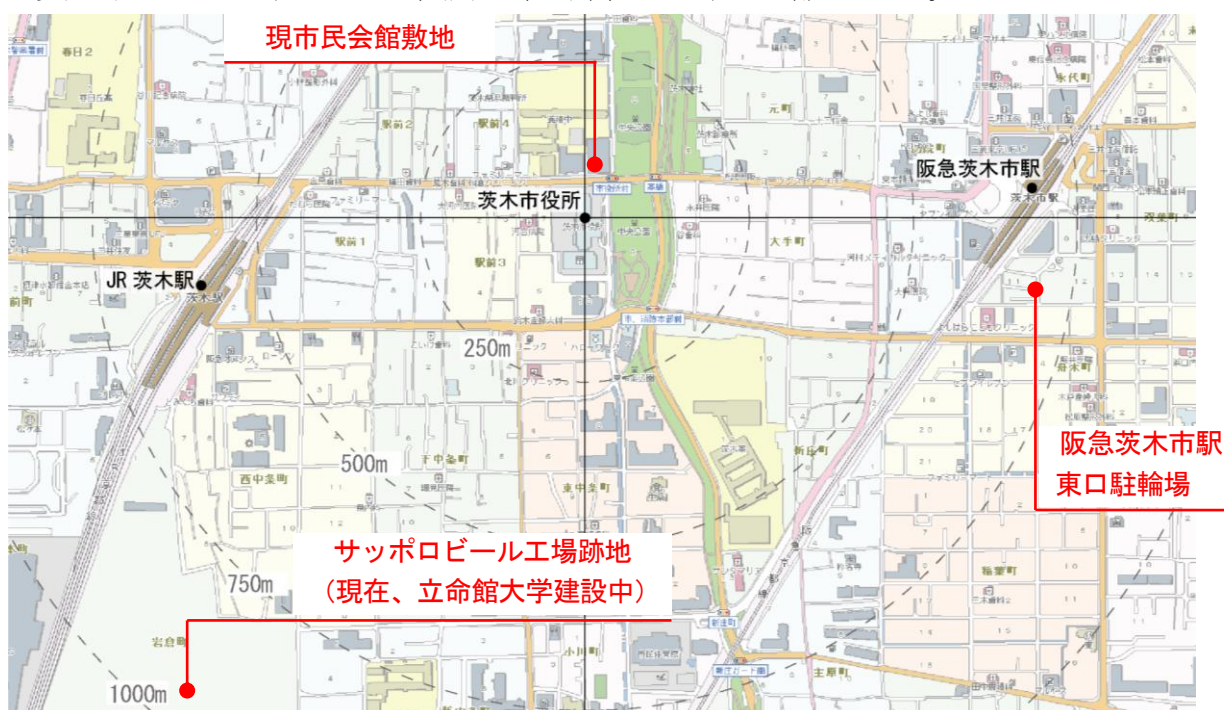


図 1-2 検討した計画地

1.2.4 計画地の概要

(仮称) 茨木市文化芸術ホールの整備箇所及び地域地区等を以下に示します。計画地 (5,776.90 m²) は現在、平面の駐輪場及び駐車場として利用されています。計画地周辺は、「茨木市自転車等の放置防止に関する条例」により「放置禁止区域」と指定されています。駐輪場は、約 1,200 台が収容可能ですが、定期利用に約 600 名が待機しています。

計画地の周辺は、事務所ビル、集合住宅、商業施設、娯楽施設駐車場、駐輪場などが立地しています。建築物の階層としては 5 階建が最高となっています。

道路については、計画地北側の市道双葉町 7 号線の幅員は現在、5.5m ですが、12m に拡幅予定です。これにより、計画地への大型車による資材搬入等が容易になります。阪急茨木市駅の南改札口から計画地までは徒歩で約 1 分、北改札口からは徒歩約 2 分でアクセスできます。阪急茨木市駅前バス停からも徒歩約 2 分となっており、公共交通機関からのアクセス性は良好と言えます。

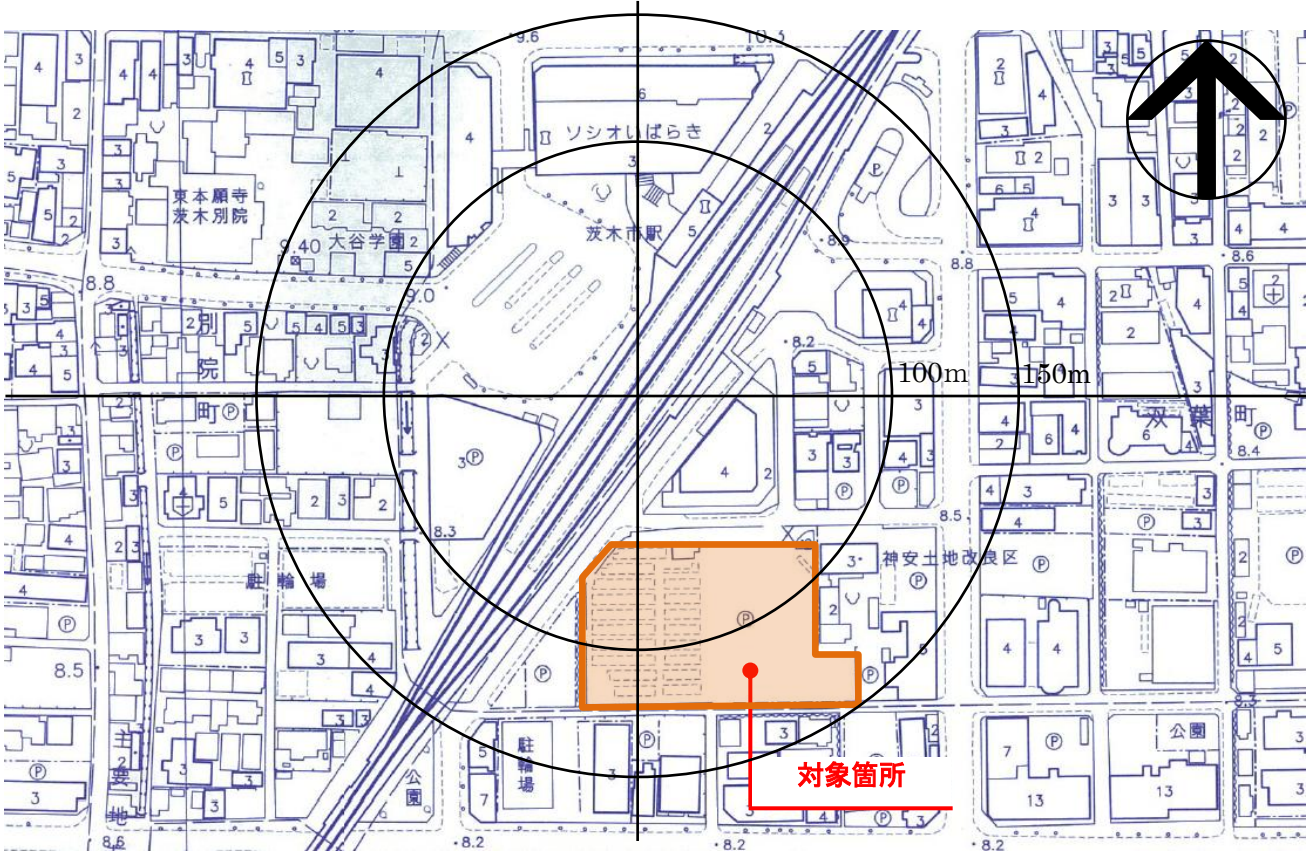


図 1-3 計画地の位置

表 1-3 地域地区等一覧

指定項目	指定内容	備 考
用途地域	商業地域	
高度地区	第七種高度地区最高高さ：31m	緩和時無制限
防火地域・準防火地域	防火地域	
地区計画	指定なし	
建蔽率	80% (100%)	角地及び防火地域による緩和
容積率	400%	
斜線制限		
・ 道路斜線制限	適用距離：20m 勾配：1.5	
・ 隣地斜線制限	立上り：31m 勾配：2.5	

1.3 茨木市内のホールを持つ施設の概要

茨木市内にはホールを含む施設が5施設となっています。5施設のうち、市民会館の大ホールが約1,000席となっており、残りの4施設は500席未満のホールとなっています。

市民会館、福祉文化会館、市民総合センターについては、多目的なホールとして利用されています。

生涯学習センターについては、多くの講座が行われ、日常的に多くの市民が利用する施設となっており、講座の成果を発表する場ともなっています。

男女共生センターについては、その設置趣旨から啓発活動などの講演やセミナーなどに利用されています。

各施設の位置を以下に示します。

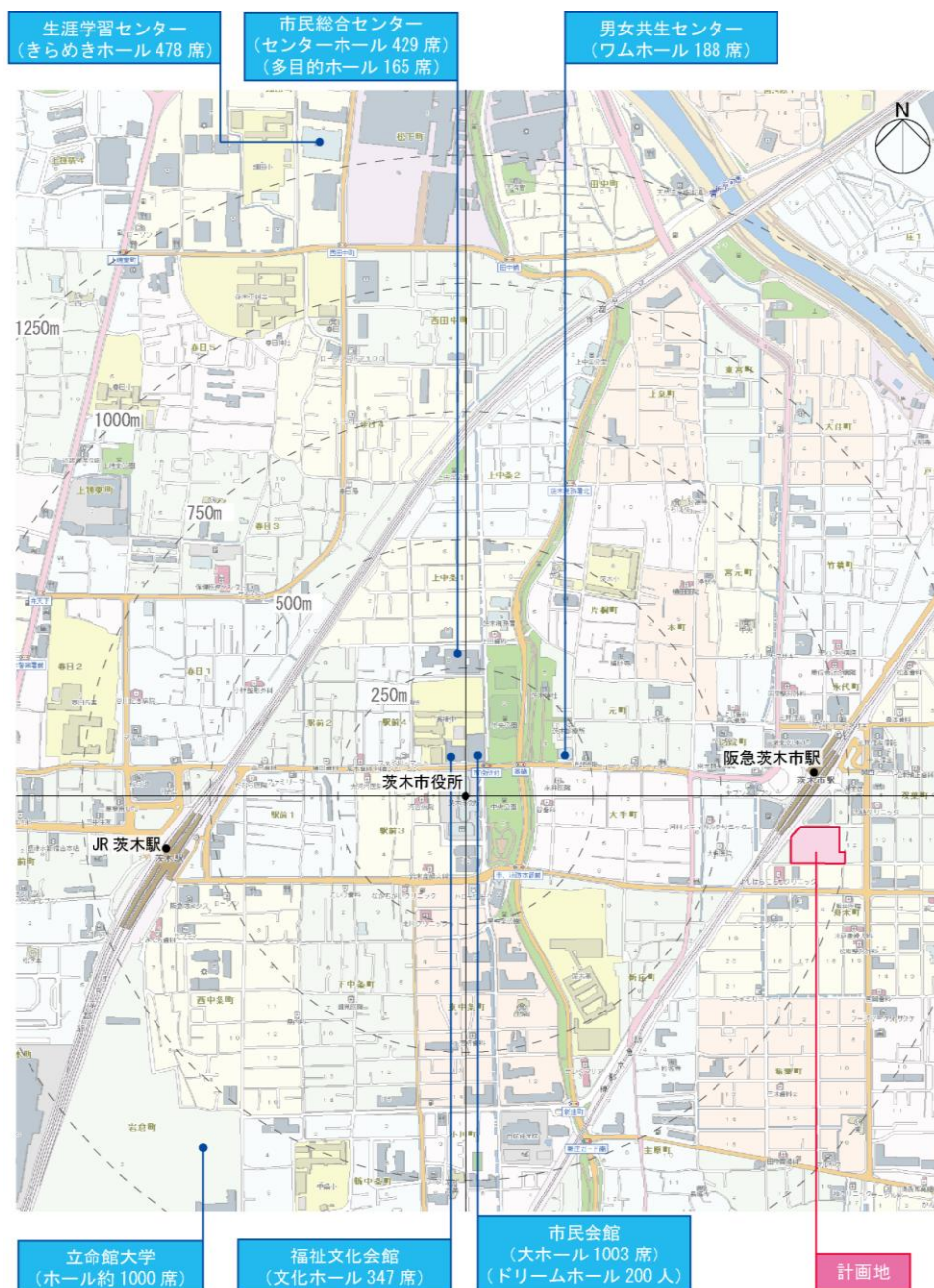


図 1-4 茨木市内の既存ホールの位置図

(1) 市内の各施設の概要

各施設の概要について以下に示します。

表 1-4 茨木市内の市営のホールを含む施設の状況

市民会館 	設置趣旨 地域の文化振興の拠点となり、地域住民の文化活動の場の提供や地域住民の福祉の目的のため	施設概要		主要施設 大ホール、ドリームホール、市民活動センター 茨木市文化振興財団事務室 食堂、売店、会議室 4 室、和室 2 室
		開館日	昭和 44 年 6 月 15 日	
		建設費	5 億 38 百万円	
		階数	地上 6 階地下 1 階	
		構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	
		敷地面積	1,896 m ²	
		建築面積	1,388 m ²	
		延床面積	6,280 m ²	
		駐車場	無	
福祉文化会館 	設置趣旨 地域の文化振興の拠点となり、地域住民の文化活動の場の提供や地域住民の福祉の目的のため	施設概要		主要施設 文化ホール、社会福祉協議会、茨木市水道部営業課、市民ギャラリー、会議室、和室
		開館日	昭和 56 年 6 月 8 日	
		建設費	22 億 30 百万円	
		階数	地上 5 階地下 2 階	
		構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造	
		敷地面積	1,750 m ²	
		建築面積	1,184 m ²	
		延床面積	6,939 m ²	
		駐車場	無	
市民総合センター 	設置趣旨 労働及び消費生活に関する活動を増進し、市民福祉の向上に資するため設置	施設概要		主要施設 センターホール、多目的ホール、控室、楽屋 2 室、市民ギャラリー、学習室、喫茶、託児室、会議室 8 室、和室 3 室、研修室、生活実習室、工芸創作室
		開館日	平成元年 10 月 26 日	
		建設費	55 億円	
		階数	地上 5 階地下 1 階	
		構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造	
		敷地面積	3,805 m ²	
		建築面積	2,699 m ²	
		延床面積	10,614 m ²	
		駐車場	48 台	
生涯学習センター 	設置趣旨 市民の生涯学習を推進し、市民の教養文化を高め、文化向上を図るため	施設概要		主要施設 きらめきホール、情報コーナー、相談コーナー、展示、喫茶コーナー、保育室、研修室、学習室、工芸、陶芸室、アトリエ、多目的スタジオ、録音スタジオ 食工房
		開館日	平成 16 年 12 月 1 日	
		建設費	35 億 83 百万円	
		階数	地上 4 階	
		構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造	
		敷地面積	7,539 m ²	
		建築面積	4,175 m ²	
		延床面積	10,923 m ²	
		駐車場	116 台	
男女共生センター 	設置趣旨 男女共同参画社会の推進をめざす拠点	施設概要		主要施設 ワムホール、ファミリールーム、ネットワークギャラリー、サポートルーム、授乳室、こどものへや、印刷工房、交流サロン、料理工房、会議室、研修室、セミナー室
		開館日	平成 12 年 4 月 1 日	
		建設費	19 億 90.8 万円	
		階数	地上 5 階地下 2 階	
		構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造	
		敷地面積	1,054 m ²	
		建築面積	687 m ²	
		延床面積	3,619 m ²	
		駐車場	3 台	

(2) 各施設のホールの概要

各施設のホールの概要について、以下に示します。

表 1-5 茨木市内の市営の既存ホールの状況

施設名		写真	主な用途	収容 人員	座席数	舞台 形式	間口 奥行き 高さ	楽屋
市民 会館	大ホール		講演会 発表会 コンサート	1,003	固 997 車 6	プロセニウム 形式	16.8 9.2 8.0	3
	ドリーム ホール		ダンス 体操 集会	200	移 150	平土間形式	14.2 20.96 4.2	
福祉 文化 会館	文化 ホール		講演会 発表会 コンサート 集会	347	固 345 車 2	プロセニウム 形式	11.0 6.4 4.0	1
市民 総合 センター	センター ホール		講演会 発表会 コンサート 映画会	429	固 426 車 3	プロセニウム 形式	11.9 9.1 6.8	3
	多目的 ホール		バレエ ダンス 体操 集会	165	可 165	平土間形式	11.5 15.7 6.6	
生涯 学習 センター	きらめき ホール		講座、講演会 講座発表会 コンサート ダンス発表会 展示会	478	可 475 車 3	プロセニウム 形式	10.0 9.5 0.9	3
男女 共生 センター	ワム ホール		講演会 集会 音楽発表会 演劇	188	固 180 車 2	プロセニウム 形式	8.6 6.0 4.2	2
立命館 大学				約1,000				

固：固定席 車：車いす用座席
移：移動席 可：可動席

1.4 茨木市内のホールの特性の整理

茨木市内の各類似施設について、運営者に対し、公益社団法人 全国公立文化施設協会の「劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査」と同様のアンケート調査を実施しました。

主な調査項目は、以下のとおりです。

- ① 稼働状況
- ② 自主事業数と主な演目
- ③ 貸館事業数と主な演目
- ④ 運営体制 など
- ⑤ 舞台関連設備の特性（舞台、音響、照明、バックヤードなど）
- ⑥ 施設特性（バリアフリー、アクセスなど）

(1) 稼働状況

茨木市内のホールの稼働状況は以下のとおりとなっています。

年間利用可能日数については、全施設で全国平均を上回っています。

稼働率では、男女共生センター（ワムホール）以外は全国平均を上回っています。ワムホールは、その設置趣旨から、他のホールと利用状況が異なっていることも一因と考えられます。

平土間で比較的小規模なドリームホールと多目的ホールの稼働率が、78%、69%と高く、この性格のホールのニーズが多いことがわかります。

表 1-6 茨木市内のホールの稼働状況[平成 25 年度]

	茨木市内のホール							※1 全国 平均
	市民会館		福祉文化 会館	市民総合センター		生涯学習 センター	男女共生 センター	
	大ホール	ドリーム ホール	文化 ホール	センター ホール	多目的 ホール	きらめき ホール	ワム ホール	
開館年	S44	S44	S56	H1	H1	H16	H12	-
座席数	1003 席	200 席	347 席	429 席	165 席	478 席	182 席	-
年間来館者数	214 千人		72 千人	100 千人	38 千人	21 千人	56 千人	126 千人
年間利用可能日数	330 日	350 日	349 日	332 日	341 日	306 日	303 日	302 日
年間稼働日数	208 日	275 日	214 日	222 日	236 日	172 日	184 日	192 日
貸館稼働日数	202 日	261 日	214 日	213 日	228 日	95 日	145 日	161 日
年間稼働率※2	63.0%	78.6%	61.3%	66.9%	69.2%	56.2%	60.7%	64.1%
年間貸館稼働率※3	61.2%	74.6%	61.3%	64.2%	66.9%	31.0%	47.9%	53.0%

※1：平成 22 年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書 社団法人 全国公立文化施設協会

調査対象は全国の国公立文化施設の内「ホールの固定座席数が 100 席以上、かつ、自主公演事業を実施施設」1223 施設

※2：年間稼働率＝年間稼働日数÷年間利用可能日数

※3：年間貸館稼働率＝貸館稼働日数÷年間利用可能日数

(2) 自主事業数と主な演目

茨木市内のホールの自主事業数は以下のとおりとなっています。

自主事業が多いのは、生涯学習センターのきらめきホールと男女共生センターのワムホールとなっています。生涯学習センターは、その性格から、アマチュア、すなわち市民による利用が多いことがわかります。男女共生センターについても、独自の企画の講演、セミナーなどの利用が多くなっていることによります。

自主事業では、どのホールでも 50%以上が音楽によるものとなっています。

市民総合センターのセンターホールの自主事業が多くなっています。内容的には、プロによる公演が多くなっています。センターホールは、市内のホールの中では、もっとも音響が良いとの評価を得ています。(12 頁参照)

市民会館の大ホールの利用状況からは、あまり大規模なコンサート等が行われていないことがわかります。

表 1-7 茨木市内のホールの自主事業数[平成 25 年度]

ホール名	茨木市内のホール							全国 ※ 平均
	市民会館		福祉文化 会館	市民総合センター		生涯学習 センター	男女共生 センター	
	大ホール	ドリーム ホール	文化 ホール	センター ホール	多目的 ホール	きらめき ホール	ワム ホール	
年間自主公演事業数	4	5	1	20	3	77	28	11.2
内 訳								
【主催、共催の内訳】								
主催	2	1	1	7	3	77	28	7.9
共催	2	4	-	13	-	0	0	3.1
【公演制作体系別内訳】								
自主制作公演	2	5	-	13	-	-	28	4.3
買取公演	2	-	1	7	3	-	-	4.5
その他	-	-	-	-	-	-	-	2.5
【出演者別内訳】								
プロ	1	5	1	15	3	1	28	8
プロアマ公演	1	-	-	3	-	4	-	0.9
アマ	2	-	-	2	-	56	-	2.3
【演目別内訳】								
音楽	2	5	-	15	-	52	-	6.6
	50%	100%	0%	75%	0%	68%	0%	59%
演劇	1	-	-	1	-	-	2	1.9
	25%	0%	0%	5%	0%	0%	7%	17%
舞踏	-	-	-	-	1	2	-	0.4
	0%	0%	0%	0%	33%	3%	0%	4%
伝統芸能	1	-	-	1	2	-	-	0.8
	25%	0%	0%	5%	67%	0%	0%	7%
大衆芸能	-	-	1	2	-	-	12	1.5
	0%	0%	100%	10%	0%	0%	43%	13%
その他	-	-	-	1	-	23	14	-
	0%	0%	0%	5%	0%	30%	50%	0%

※：平成 22 年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書 社団法人 全国公立文化施設協会

調査対象は全国の国公立文化施設の内「ホールの固定座席数が 100 席以上、かつ、自主公演事業を実施施設」1223 施設

(3) 貸館事業数と主な演目

茨木市内のホールの貸館事業数は以下のとおりとなっています。

市民会館大ホールは、その規模から他のホールに比べ舞台公演の割合が高くなっています。稼働率の高かった市民会館ドリームホールと市民総合センターの多目的ホールの利用が多くなっています。

ドリームホールについては、1 階にあり利便性が高いことなどから、展示会など（その他に分類）の利用が多くなっています。次に多いのが稽古、リハーサルとなっています。市民総合センターの多目的ホールでは、稽古、リハーサルがもっとも多く、両施設合わせると、300 件近い利用件数となっています。

舞台公演の演目については、音楽の割合がどのホールでも高くなっています。ドリームホールは、その他の利用がもっとも多くなっています。大ホールについても、その他の利用が多く多様な利用がなされていることがわかります。

表 1-8 茨木市施設（ホール）の貸館事業数[平成 25 年度]

ホール名	茨木市内のホール						
	市民会館		福祉文化 会館	市民総合センター		生涯学習 センター	男女共生 センター
	大ホール	ドリーム ホール	文化 ホール	センター ホール	多目的 ホール	きらめき ホール	ワム ホール
年間貸館公演事業数	208	486	213	144	276	129	145
貸館利用の内訳							
【利用目的別内訳】							
1. 舞台公演	150	83	128	89	10	45	89
	72%	17%	60%	62%	4%	35%	61%
2. 稽古・リハーサル	12	112	14	5	184	68	－
	6%	23%	7%	3%	67%	53%	0%
3. 講演・講義	34	13	35	16	45	3	48
	16%	3%	16%	11%	16%	2%	33%
4. 集会・式典	4	32	－	20	6	7	8
	2%	7%	0%	14%	2%	5%	6%
5. その他	8	246	36	14	31	6	－
	4%	50%	17%	10%	11%	5%	0%
【舞台公演出演者別内訳】							
プロ	－	－	－	－	－	5	－
プロアマ公演	－	－	－	－	－	7	－
アマ	150	83	128	89	10	33	－
【舞台公演演目別内訳】							
音楽	78	28	110	69	－	36	80
	52%	34%	86%	78%	0%	80%	89%
演劇	2	1	4	1	－	－	3
	1%	1%	3%	1%	0%	0%	3%
舞踏	5	13	12	7	3	6	2
	3%	16%	9%	8%	30%	14%	2%
伝統芸能	4	－	－	2	4	－	－
	3%	0%	0%	2%	40%	0%	0%
大衆芸能	－	10	－	－	2	1	4
	0%	12%	0%	0%	20%	2%	4%
その他	61	31	2	10	1	2	2
	41%	37%	1%	11%	10%	4%	2%

(4) 茨木市内のホールの運営体制

茨木市内のホールの運営体制は以下のとおりとなっています。

5つの施設のうち、3つの施設が指定管理者として茨木市文化振興財団が管理運営を行っています。茨木市文化振興財団は、「芸術文化の創造及び芸術文化活動の育成・支援に関する事業を推進することにより、地域の芸術文化の振興と健全な地域社会の発展に寄与することを目的」として茨木市によって設立された公益財団法人です。

生涯学習センター及び男女共生センターについては、市民による活動が多い施設であり、市民のボランティアが参加しています。

いずれの施設も芸術監督などの専門職が不在となっています。

市民会館、福祉文化会館、市民総合センターについては、市民が積極的にホールのイベントなどに参加する仕組みである市民ボランティアや友の会などの活動は行われていません。

表 1-9 茨木市内のホールの運営体制[平成 25 年度]

		茨木市内のホール				
		市民会館	福祉文化会館	市民総合センター	生涯学習センター	男女共生センター
運営者		指定管理者（茨木市文化振興財団）			茨木市	茨木市
職員数		4 人	4 人	7 人	13 人	11 人
内 訳	館長	－	－	－	1 人（常勤）	1 人（常勤）
	管理運営担当	3 人（常勤）	3 人（常勤）	4 人（常勤）	3 人（常勤）	1 人（常勤）
	事業担当	1 人（常勤）	1 人（常勤）	3 人（常勤）	5 人（常勤）	2 人（常勤） 2 人（非常勤）
	舞台技術担当	1 人（常勤） 2 人（非常勤）	3 人（非常勤）	1 人（常勤） 2 人（非常勤）	委託	1 人（非常勤）
	その他	－	－	－	2 人（常勤） 2 人（非常勤）	4 人（非常勤）
芸術監督の有無		無	無	無	無	無
市民ボランティア		無	無	無	有	有
友の会		無	無	無	無	無

(5) 舞台関連設備の特性（舞台、音響、照明、バックヤードなど）

茨木市内のホール各運営者から、舞台関連設備に対する評価として、以下の回答が得られました。
もっとも新しいきらめきホール以外は、3点の普通を下回る厳しい評価となっています。

きらめきホールは、JR茨木駅から1.5Kmの距離にあり、バスの本数も少ないのですが、駐車場が充実しています。また、自転車による利用者も多くなっています。新しい施設でありゆとりのある空間構成となっており、搬入路、楽屋、アクセスの項目で「良い」との回答が得られました。

市民総合センターのセンターホールでは唯一音響設備について「良い」との回答が得られました。ただし、多目的ホールについては、資機材の搬入路、楽屋が設置されていないため、利用者が多いにもかかわらず低い評価になっています。

表 1-10 茨木市内のホールの舞台関連設備 [運営者アンケートより]

	茨木市内のホール						
	市民会館		福祉文化会館	市民総合センター		生涯学習センター	男女共生センター
	大ホール	ドリームホール	文化ホール	センターホール	多目的ホール	きらめきホール	ワムホール
音響	2	3	3	4	2	2	3
照明	2	3	3	2	2	3	2
舞台装置	2	3	3	2	2	3	3
搬入路	2	2	2	2	1	4	1
楽屋	2	2	2	2	1	4	3
アクセス	3	3	3	2	2	4	4
平均	2.17	2.67	2.67	2.33	1.67	3.33	2.67

評価は5段階で、5:大変良い、4:良い、3:普通、2:やや悪い、1:悪い

(6) バリアフリー対応

茨木市内のホール各運営者へアンケートを行い、バリアフリー対応に対する評価として、以下の回答が得られました。

男女共生センターのスロープ以外は、各施設ともに、EV、トイレ、スロープ、サインといった設備は十分有るとの回答でした。しかしながら、バリアフリー法に基づく「茨木市福祉のまちづくり指導要綱」で求められる基準と比較すると、古い施設については十分な状況とは言えません。特に市民会館については、2階席へ至るエレベーターの未設置やスロープが屋外に設置されているなど、誰にでも利用しやすい状況とはなっていません。

表 1-11 茨木市内のホールを有する施設のバリアフリー対応 [運営者アンケートより]

	市民会館	福祉文化会館	市民総合センター	生涯学習センター	男女共生センター
EV	有・十分	有・十分	有・十分	有・十分	有・十分
トイレ	有・十分	有・十分	有・十分	有・十分	有・十分
スロープ	有・十分	有・十分	有・十分	有・十分	無・不十分
サイン	有・十分	有・十分	有・十分	有・十分	有・十分

1.5 (仮) 文化芸術ホールに関する利用者調査

茨木市が、平成 25 年に、文化芸術ホールについての要望等を関係者から聞くことを目的にアンケート調査を実施しました。その概要は以下のとおりです。

(1) 調査概要

調査概要を以下に示します。

- ・実施期間：平成 25 年 5 月～6 月
- ・調査票配布先：平成 24 年度茨木市社会教育関係団体登録団体（文化関係）13 団体
及び茨木市文化振興財団

(2) 調査結果概要

調査結果の概要をまとめると以下のとおりとなっています。

① (仮称) 文化芸術ホールの施設全体の特色として、どのようなものを望まれますか？

(最優先して考慮すべき特色について 1 つを選択)

選 択 肢	票 数 (%)
芸術文化を鑑賞する場	4 (29%)
市民の芸術文化活動を発表する場	8 (57%)
日常的な芸術文化活動を行う場	2 (14%)

市民の芸術文化活動を発表する場がもっとも多くなっている。市民活動が盛んなことが伺える。また、鑑賞する場がやや少ないのは、大都市近郊にあり専門のホール等があることも影響しているのではないか、と思われます。

② (仮称) 文化芸術ホールはどのような場所にあるのが良いと思われますか？（3 つまで選択）

選 択 肢	票 数 (%)
公共交通機関で行きやすい場所	13 (93%)
車で行きやすい場所	9 (64%)
多くの人が集まるにぎやかな場所	5 (36%)
緑などの自然環境に恵まれた場所	4 (29%)
近くに商業施設がある場所	3 (21%)
近くに文化、教育施設がある場所	2 (14%)

公共交通機関で行きやすい場所については、ほとんどの団体が賛成している。その他、車でのアクセスの良さを望む団体も過半数となっている。団体によっては、比較的大きな楽器などを持参する必要があるためではないかと思われます。

③ 現在の市民会館等のホール（公共施設）に対して不便に思う点や不満な点がありますか？
（3つまで選択）

選 択 肢	票 数 (%)
必要な設備がない	6 (43%)
施設・設備が古い	10 (71%)
規模が大きすぎて使いにくい	3 (21%)
施設の場所がわかりにくい	1 (7%)
施設への交通の便がわるい	3 (21%)
施設の駐車場・駐輪場がない（少ない）	5 (36%)
その他	7 (50%)

その他を選択した場合の自由記載については、以下のようになっています。

項 目	概 要
施設・設備に関する事項	音響が悪い（残響、空調音、構造的理由など） 空調調整が困難
利便性	搬入路が未確保（11t 車）、エレベーター、リフト等
施設に関する事項	専用ホワイエ、ピアノ庫がない。 バックヤードの不足（楽屋、楽屋用設備の不足）
サービス体制	技術スタッフが非常駐

施設、設備に関する不満点が多いため、建設後 40 数年経過し、技術やサービス水準が向上し、施設、設備が陳腐化しているためではないかと思われます。

④ どのような演目に対応できるホールを求めますか？（1つ選択）

選 択 肢	票 数 (%)
音楽専用ホール	5 (36%)
多目的ホール	7 (50%)
その他	2 (14%)

その他を選択した場合の自由記載については、以下のようになっています。

項 目	概 要
収容人員・演目について	・ 800 名程度で、文楽等もできるホール ・ 大ホール（固定席 1,100／1 階 600、2 階 300、3 階 200） （オーケストラ、オペラ、バレエ、合唱、ポピュラー、演劇、歌舞伎、ミュージカルなど） ・ 小ホール（可動席最大 200 可動舞台） （演劇、人形劇、ダンス、映画、ライブ、ワークショップ、現代アート、映像展示など） ・ 音楽専用（固定席 300）（邦楽、クラシック用） ・ 能楽堂（300 席） ・ 大ホールと小ホールが必要

多目的ホールを望む意見が最も多くなっています。大ホールと小ホールの 2 つの需要が見受けられます。小ホールについては、伝統芸能に対する要望もあります。

⑤ (仮称)文化芸術ホールの規模として、どの程度の客席数が理想と考えますか？

選 択 肢	票 数 (%)
300～599 席	3 (21%)
600～899 席	2 (14%)
900～1,199 席	4 (29%)
1,200 席以上	5 (36%)

自由記載については、以下のようになっている。

項 目	概 要
収容人員について	・あまり大きいと使いづらい ・合唱連盟加盟団体の合同演奏ができるホール ・全国規模のコンクールや催しに対応可能なホール ・フルオーケストラの演奏が可能なホール ・大ホール 600 席、小ホール 100 席 ・吹田メイシアターより大きいホール（収益性が上がる） ・生の音を聞くために大きなホールは望まない ・現状では客席に余裕がなく、大きな行事が行いにくい

客席数に関しては、半数以上が現状以上（900 以上）を望んでいる。また、小ホール等の整備の要望も多い。

⑥ その他自由意見、要望等

項 目	概 要
施設・設備について	・音響の良いホール ・バリアフリー、防災機能、適切なピアノ等も考慮したホール
整備位置	・現在の場所に建替えを要望（市の中心）
使用料	・市民の利用しやすい使用料、地元優先の利用
規模・グレード	・大中小を完備してほしい ・憧れるような良いホールを作してほしい
ソフトの充実	・劇場法を踏まえソフト（運営）を重視し、見合った規模にしてほしい

様々な利用が想定されており、各々の利用方法を考慮したグレードの設定が求められている。

1.6 周辺地域の類似施設の概要

1.6.1 周辺の類似施設の整理

文化芸術ホールの計画の参考とするために、既存の類似施設について、概要を整理しました。整理の対象施設は、以下の主な大阪府内のホールとしました。

(1) 1,000 席以上の施設の施設概要の整理

1,000 席以上のホールを持つ施設について、その概要を以下に整理しました。稼働率については、HP等で公表されているもののうち、大ホールのみの稼働率を示しています。その中で、稼働率が 70%を超えるものは、河内長野市立文化会館（90.7%）、吹田市文化会館（84.8%）、門真市民文化会館（74%）、枚方市市民会館（71.5%）の 4 施設となっています。

表 1-12 1,000 席以上のホールの概要

（公益社団法人 全国公立文化施設協会 HP、各施設 HP より）

施設名称	建設年	座席数	稼働率（%）	備考
豊中市立市民会館	S43	1,584	－	H23.3 閉館 現在建設中（H28 完成予定）
高槻市立文化会館	S39	1,564	65.9（H25 実績）	
岸和田市立浪切ホール	H14	1,552	－	
東大阪市立市民会館	S42	1,504	－	
枚方市市民会館	S40	1,454	71.5（H24 実績）	
八尾市文化会館	S63	1,449	58.4（H21 実績）	
藤井寺市立市民総合会館	S48	1,400	－	
吹田市文化会館	S60	1,397	84.8（H24 実績）	
堺市民会館	S40	1,395	－	H26.3 閉館 現在建設中（H31 開館予定）
泉佐野市立文化会館	H8	1,376	－	
大阪狭山市文化会館	H6	1,356	－	
河内長野市立文化会館	H4	1,308	90.7（H24 実績）	
泉大津市民会館	S47	1,308	－	
貝塚市民文化会館	H5	1,224	51（H20 実績）	
大東市立文化ホール	S62	1,224	－	
寝屋川市立市民会館	S45	1,209	42.2（H25 実績）	
和泉市立人権文化センター	S52	1,200	－	
大阪市中央公会堂	T7	1,167	－	
柏原市民文化会館	H10	1,166	20.7（H22 実績）	
門真市民文化会館	H5	1,128	74（H24 実績）	
池田市民文化会館	S50	1,072	59.1（H19 実績）	
守口市市民会館	S41	1,008	－	H26.3 閉館 再建予定無
茨木市市民会館	S44	1,003	63.0（H25 実績）	

(2) 近傍の類似施設の整理

茨木市近傍における類似施設の状況を整理しました。12 施設を抽出しましたが、500 席未満と 1,000~1,500 席の施設が多くなっています。収容人員 1,000 席以上の施設を見ると、建築後 40 年を過ぎたものが 6 施設中 4 施設、残る 2 施設も建設後約 20 年、30 年となっており、古い施設が多いことがわかります。

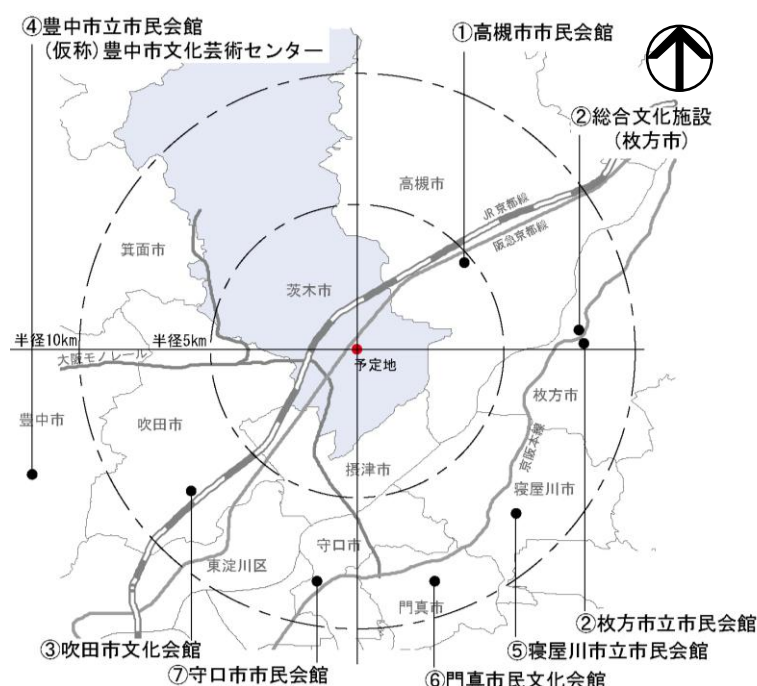


図 1-5 茨木市近傍の 1,000 席以上の類似施設の位置

表 1-13 茨木市近傍の 1,000 席以上の類似施設

地図 番号	名 称	大ホール 収容人員	竣工年	稼働率 (%)	付帯施設	備考
①	高槻市市民会館	1,564	S. 39	65.9	文化ホール（中ホール） 集会室 16 室（兼楽屋、多目的室）	H27.7~H28.3 大ホール天井改修工事 H23 基本構想策定済み
②	総合文化施設※ （枚方市）	約 1,500	H. 31 予定		小ホール（400 席）、イベントホ ール、美術ギャラリー、リハー サル室	※名称等は未定 H26.4 整備計画（案）説明 会開催
	枚方市市民会館	1,454	S. 40	71.5	会議室、集会室各 6 室、料理室 1 室	
③	吹田市文化会館	1,397	S. 60	84.8	中・小ホール、リハーサル室、 練習室、集会室、展示室	
④	（仮称）豊中市文化 芸術センター	約 1,300	H. 28 予定		小ホール（200 席）、練習室、会 議室、展示室、交流スペース、 キッズルーム	H24.3 整備計画策定済み 市民会館は解体済み
	豊中市立市民会館	1,584	S. 43			H23.3 閉館
⑤	寝屋川市立市民会館	1,209	S. 45	42.2	小ホール、会議室 15 室、研修室、 多目的室 3 室、講義室	H25 耐震設計を実施 耐震補強工事を行う予定
⑥	門真市民文化会館	1,128	H. 05	74.0	小ホール、レセプションホール、リハー サル室、練習室、会議室	
⑦	守口市市民会館	1,008	S. 40	-	多目的ホール、会議室 17 室、市 民ギャラリー	H26.3 月末に閉館。新施設 の開設の予定はない。

(3) 稼働率の高い施設の概要

大阪府内の 1,000 席以上のホールの中で大ホールの稼働率が 70%を超える施設に関して、概要を整理しました。

表 1-14 稼働率高い 1,000 席以上の類似施設

	施設概要		主要施設	特徴
	開館年	昭和 40 年		
	建設費	5 億 39 百万		
	敷地面積	7,936 m ²		
	建築・延床	3,185 m ² ・7,423 m ²		
	指定管理者	(株) JTB コミュニケーションズ		
	友の会	791 件 (H24)		
	稼働率	71.5%		
	自主事業	24 事業 (H24)		
	席数	1,454		
	施設概要		主要施設	特徴
	開館年	昭和 60 年		
	建設費	61 億 8 百万		
	敷地面積	10,229 m ²		
	建築・延床	6,782 m ² ・16,119 m ²		
	指定管理者	吹田市文化振興事業団		
	友の会	1,390 人 (H24)		
	稼働率	84.8%		
	自主事業	18 事業 (H24)		
	席数	1,397		
	施設概要		主要施設	特徴
	開館年	平成 5 年		
	建設費	72 億 96 百万		
	敷地面積	7,291 m ²		
	建築・延床	4,370 m ² ・11,785 m ²		
	指定管理者	NPO 法人トイボックス		
	友の会	-		
	稼働率	74.0% (H24)		
	自主事業	-		
	席数	1,128		
	施設概要		主要施設	特徴
	開館年	平成 4 年		
	建設費	68 億 22 百万		
	敷地面積	8,888 m ²		
	建築・延床	5,307 m ² ・11,037 m ²		
	指定管理者	河内長野市文化振興財団		
	友の会	971 件 (H24)		
	稼働率	90.7%		
	自主事業	48 事業 (H24)		
	席数	1,308		

※掲載写真は各施設 HP より

※友の会の件数は個人会員数と法人会員の口数の合計

